

船舶事故調査報告書

令和5年3月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和4年7月22日 21時17分ごろ
発生場所	大分県佐伯市 ^{おおにゅう} 大入島西方沖 佐伯港本港北防波堤灯台から真方位018° 1.9海里付近 (概位 北緯33° 00.6′ 東経131° 55.1′)
事故の概要	プレジャーボート ^{ゆきかぜ} 雪風は、航行中、養殖生け簀に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和4年9月5日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 雪風、5トン未満（長さ6.27m）
船舶番号、船舶所有者等	294-17452大分、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	本船 船尾部船底外板に擦過傷 養殖生け簀 なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の初期 日没時刻：19時19分ごろ（佐伯市）
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、夜間に釣りをを行う目的で、船首約0.3m、船尾約0.6mの喫水により、16時00分ごろ佐伯市佐伯港北東方沖の釣り場で漂泊を始めた。</p> <p>船長は、ふだん夜間に釣りを行わずに日没前には帰航を開始していたので、陸の形が見えなくなり始めて急に心細くなり、20時00分ごろ帰航を開始することとした。</p> <p>船長は、本船が大入島北西方沖に設置された灯浮標を通過した後、左舷前方に「佐伯港南部の市街地の明かり」（以下「本件市街地の明かり」という。）を認めて安堵し、本件市街地の明かりを船首目標として大入島と対岸との中央を航行すれば障害物はなく、安全に帰港できると思い、左転して本件市街地の明かりを船首目標として意識を向けながら南南西進を開始した。</p> <p>船長は、大入島と対岸との中央を航行しているつもりで本船を南南西進させていたところ、突然衝撃を受けたので船外機を停止させて周囲を見回したところ、「大入島西方沖に設置された養殖生け簀」（以下「本件養殖生け簀」という。）の鋼製枠を認め、本船が本件養殖生け簀に乗り揚げていることに気付いた。</p> <p>船長は、海上保安庁に本事故の発生を通報し、来援した巡視艇により佐伯港内の岸壁に運ばれた。</p>

	<p>本船は、後日、本件養殖生け簀の所有船舶により引き出された後、船長が操船して佐伯港内の係留場所に着岸した。</p> <p>船長は、本件養殖生け簀が設置されていることを知っていた。</p> <p>船長は、過去に夜間航海を行った経験が約2～3回しかなかった。</p> <p>本件養殖生け簀には、標識灯が4個設置されており、灯色が黄色である。</p> <p>船長は、本件市街地の明かりに意識を向けながら航行していたので、本件養殖生け簀の存在を示す標識灯の灯光に気付かなかったと本事故後に思った。</p> <p>船長は、ふだん陸の形の見え方で本船の位置を判断しており、GPSプロッターで本船の位置を確認する習慣がなかったが、本事故当時、GPSプロッターを作動させていたので、同プロッターで本船の位置を確認していれば、大入島に寄って本件養殖生け簀に向かう進路となっていることに気づき、本事故の発生を回避できたと本事故後に思った。</p>
<p>分析</p>	<p>本船は、大入島西方沖を南南西進中、船長が、本件市街地の明かりを船首目標として大入島と対岸との中央を航行すれば障害物はなく、安全に帰港できると思い、本件市街地の明かりに意識を向け、目視のみに頼った操船を行いながら航行を続けたことから、大入島に寄って本件養殖生け簀に向かう進路となっていることに気付かず、本件養殖生け簀に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本件市街地の明かりを注視していたことから、本件養殖生け簀の存在を示す標識灯の灯光に気付かなかったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が大入島西方沖を南南西進中、船長が、本件市街地の明かりを船首目標として大入島と対岸との中央を航行すれば障害物はなく、安全に帰港できると思い、本件市街地の明かりに意識を向け、目視のみに頼った操船を行いながら航行を続けたため、大入島に寄って本件養殖生け簀に向かう進路となっていることに気付かず、本件養殖生け簀に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船長は、夜間に操船する場合、特定の明かりのみに意識を向けることなく、また、目視に頼って本船の位置を判断せずにGPSプロッター等を使用して本船の位置及び陸岸までの距離を客観的に判断すること。